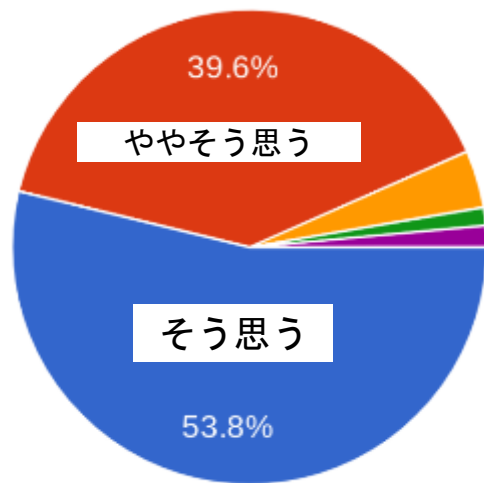


川崎市立荻宿小学校
令和6年度
学校評価のまとめ

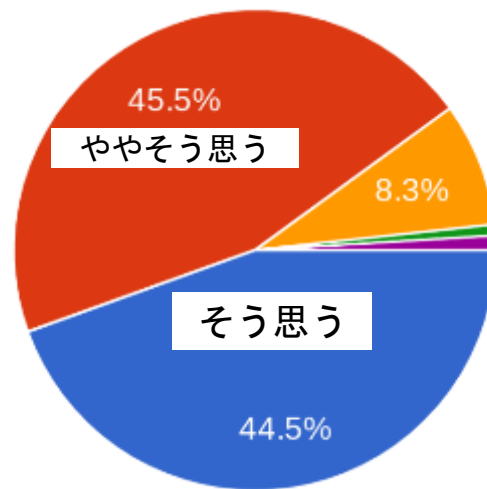
校長 小久保 裕之

(徳) 心やさしく、他者を理解する子

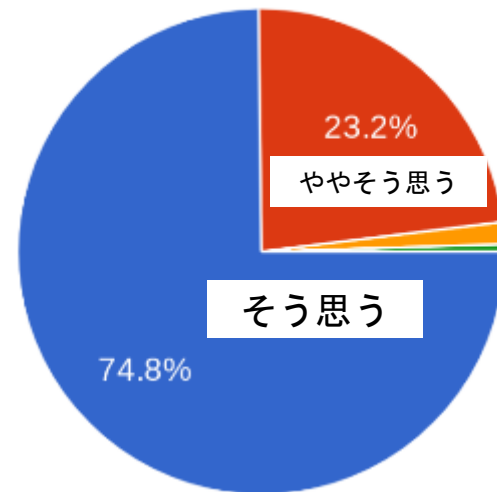
- そう思う
- ややそう思う
- あまり思わない
- 思わない
- わからない



①自分のすべきことに気づき、行動に移すことができたか。



②地域や学校など人と人との関わりに関心をもって過ごしていると思いますか。



③運動会やドリフェスなどの行事に対して意欲的に取り組んでいたか。

(徳) 心やさしく、他者を理解する子

アンケート結果から...

①自分の役割を自覚し、行動しようとする児童の様子がうかがえる。

⇒クラス内での学級会や係活動で、創造的に活動を行ったり、意見を一つにまとめる活動を行ったりすることで、子どもたちの自主性が育ち、所属感をもって集会に取り組んでいます。委員会活動では、4年生で事前に委員会について知り、5年生による委員会報告会を見て、委員会を決めています。自分が入りたい委員会、クラブに基本的には入れるので、やる気も期待も高まっている様子が見られます。活動内容を紹介する時間や縦割りでの活動等を今後も大切にし、互いのよさを認め合いながら、自ら考え行動する子の育成を図っていきます。

異学年での縦割り班でのなかよし集会で関わる様子



(徳) 心やさしく、他者を理解する子

アンケート結果から...

②地域や学校など人と人との関わりに関心をもっている児童が多い。
⇒90%の方が、地域や他学年との関わりに意義を感じていることがわかりました。縦割活動のなかよし班での異学年交流や、行事を通じた保護者や地域の方との交流を各学年で大切にしています。生活科や総合の学習をはじめとして、苅宿小学校らしい人とのつながりの中での学びを大切にし、心の交流も図れるような活動を続けていきます。

左... 1年生昔遊び

右... 6年生苅宿神社祭礼



(徳) 心やさしく、他者を理解する子

アンケート結果から...

③行事等では、自分なりの目標に向かって努力をし、意欲的に取り組んでいる様子が見られる。

⇒運動会、各学年の行事が目標となり、友達と協力しながら学習の成果を発揮しようとする意欲が高まっていることが分かります。発表時期が全学年同じであり、発表形態に制約があるドリムフェスティバルを令和7年度から各学年での学習発表会へ移行します。各学年の児童の実態、年間カリキュラムに合わせ、児童に身に着けさせたい資質・能力を明確にした学習活動を実現し、子どもが主体的に学んだことを伝えたり、表現したりする場としていきます。学びの成果を友達、保護者や地域の方に見ていただける機会として、より充実していけるよう、今後も工夫を重ねていきます。

左...運動会の様子

右...ドリフェスの様子



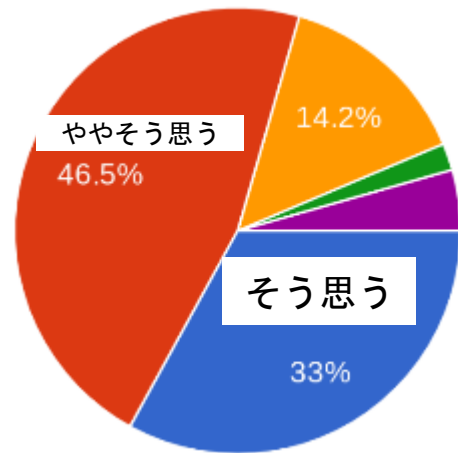
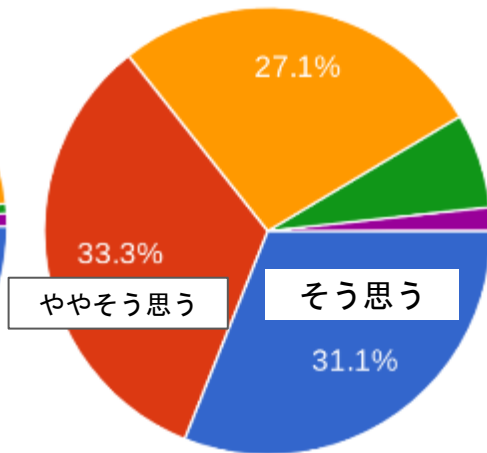
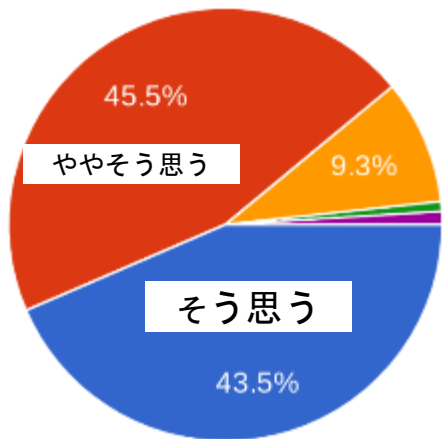
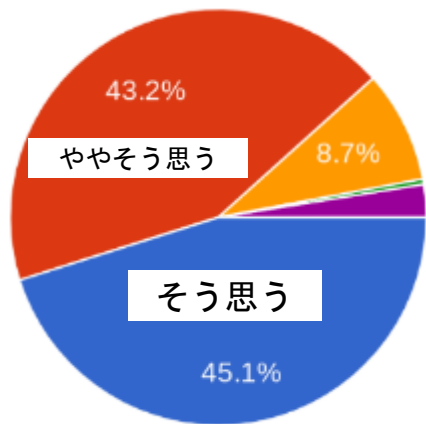
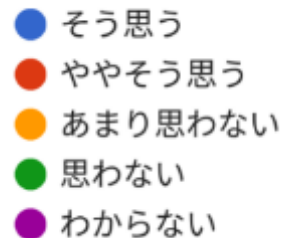
(徳) 心やさしく、他者を理解する子

自由記述から

- ・異学年との交流にあたり、最高学年としての責任と役割を理解し行動できていたと思います。
- ・子供から楽しかった出来事を聞き、年齢が違う人たちとの交流をわくわくしながら過ごしているように感じます。

⇒お互いを認め合うことや違いのよさを感じ、自分も友達も大切にしていけることを目指し、日々の学習や行事をこれからも計画・実施していきます。保護者や地域の皆様の温かいご支援やお力添えを今後ともよろしくお願いいたします。

(知) 自ら学び、判断し、行動する子



①家庭学習 (宿題や自学) は、基礎基本の定着に繋がっているか。

②興味をもったことについて、家庭で話題にしたり、自ら進んで取り組んだりしているか。

③読書に親しんでいるか。

④学校の授業で情報モラルを扱うことが、家庭で携帯電話やインターネットを利用する際に生かされているか。

(知) 自ら学び、判断し、行動する子

アンケート結果から...

①学校での学習と家庭学習により、基礎・基本が定着している。

⇒算数科の校内研究が2年目となりました。「自信をもって表現できる子」の育成を目指し、授業改善に取り組んできました。学んできた知識や理解を使い、友達の考えや自分の前の考えと比較しながら問題を解決する思考力や、その考えを表現する力の育成を目指して取り組みました。今後も丁寧な学習支援や家庭学習を含め、基礎・基本の定着を目指し、学ぶことの楽しさを感じられる授業づくりに努めていきます。



校内研究授業の様子



(知) 自ら学び、判断し、行動する子

アンケート結果から...

②興味関心をもったことに対して、意欲的に取り組んでいる児童が育ってきている。

⇒生活科や総合的な学習では、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしています。自分自身の課題に難しさを感じても、学んだことを生かし、友達や地域の方、保護者の方の支援をいただきながら、粘り強く取り組んでいく力を今後も育てていきます。

左：GIGA端末を使って算数の課題に取り組む様子

右：栄養教諭と担任による食育の授業



(知) 自ら学び、判断し、行動する子

アンケート結果から...

③読書に親しむ時間をつくるための工夫が成果として表れてきている。

⇒ここ数年、読書量や読書時間を増やすための取り組みを続けています。各学年で、国語の学習と関連した本を読む活動、好きな本の紹介活動、宿題での読書タイム、図書ボランティア「ヨムヨム」さんによる読み聞かせ、図書委員会による催し、学校司書さんによる国語の学習と関連付けた本の紹介、など1年を通してたくさんの場面で読書に触れる機会を設けています。

今後も読書を通して自らの学びや考えが豊かになるよさを実感し、自分から進んで読書をする子をめざしていきます。

右...読み聞かせに集中する子ども達



(知) 自ら学び、判断し、行動する子

アンケート結果から...

④授業の中での情報モラルの指導は、学校や家庭で利用する際のモラルと関連付けて考えることに役立っている。

⇒子どもたちは学習の道具のひとつとして日々GIGA端末を活用しています。年間35時間の特別活動の中の1時間を情報モラル授業として位置づけています。児童自らが安全でよりよい使用方法について考えていけるような指導を繰り返し行うことで、それぞれの学年の発達段階に応じた使い方を身につけている様子がうかがえます。

GIGA端末を使い、学習の中で友達と意見交流をしたり、自らの発表を録画して修正をしたりすることで、たくさんの考えに触れたり、より深く考えたりすることにつながっています。携帯電話やスマホの使い方についても引き続き、学校と家庭の両方で、日常生活のモラルと関連付けながら、折に触れて情報モラルについての指導を重ねていきたいです。

左... 1年生に扱い方を教える6年生



(知) 自ら学び、判断し、行動する子

自由記述から...

・まだ低学年なので情報モラルなどを授業で取り扱っていてもなかなか理解することが難しいとは思いますが、低学年のうちからそのような授業をやって頂けることは有り難いと感じています。

・興味がある事に対して、インターネットを利用している際、夢中になりすぎて休憩をも忘れて集中している時に、内容によりその集中を途絶えさせて良いのか迷う事があります。

⇒GIGA端末やインターネットを使用するときには、便利さと危険性も理解し、安全に使うことができるようになることを見据えて、発達段階に応じた指導を繰り返し重ねていくことが必要かと思えます。学校とご家庭の両方で、その力を少しずつ積み重ねていけるよう意識していきたいと思えます。

(知) 自ら学び、判断し、行動する子

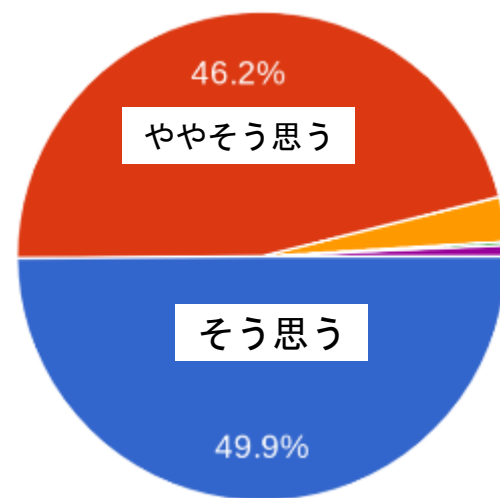
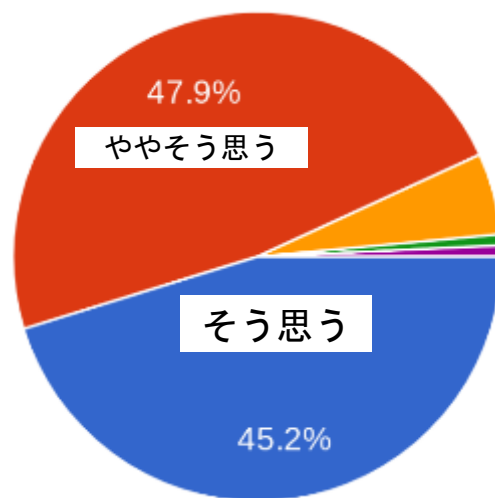
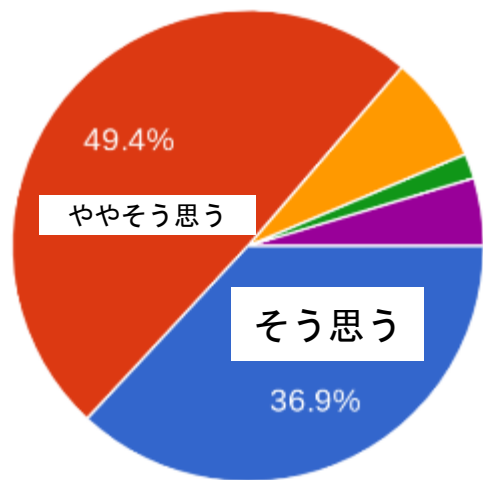
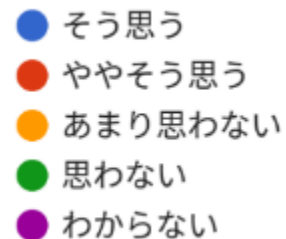
自由記述から...

- 普段と長期休暇のどちらににおいても、宿題はなくさないで欲しい。やってもやらなくてもどちらでもよい、という表現も避けて欲しい。ある程度の質・量を全員がこなすことは必要だと思う。

(他同様の意見あり)

⇒宿題については、学校での学習の定着と家庭学習の習慣づけの為に必要であると考えます。課業期間や夏休みなどどちらもある程度の質・量のものを全員が課題としてやってくるということを今後も続けていきます。

(体) 心も体も健康に生活する子



①保護者や友達、教職員など信頼できる人に困ったことなどを相談できているか。

②普段の生活でもルールを守って生活しているか。

③安全に気を付けて生活しているか。

(体) 心も体も健康に生活する子

アンケート結果から...

①概ね、相談できる体制は整っている。

⇒相談しやすい体制になっているかについて86%の方から「そう思う」「ややそう思う」というご回答をいただきました。教育相談日、個人面談や個別の相談が保護者や児童にとって心を落ち着けるものになっていると考えます。支援教育コーディネーターを中心にカウンセラーも含め、相談しやすい体制を整えていきます。なにか困っていることや気づいたことがあったらすぐに相談できる雰囲気作りや、教職員から気づいて声をかけていくことができるように努めます。

また、学校生活を安心して楽しく送れるように授業の中で「共生＊共育プログラム」や「SOSの出し方・受け止め方教育」の実践をしたり、多くの教職員で情報を共有して見守ったりしていけるように今後も支援を続けていきます。

(体) 心も体も健康に生活する子

アンケート結果から...

②③ルールを守って安全に過ごしている児童が多い。

⇒地域の方の見守りに感謝申し上げます。これからも、学校はもちろん、家庭・地域でも決まりやルールを守ることが安全で過ごしやすい町づくりにつながることを繰り返し伝えていきます。



左...避難訓練の様子
中...下校の様子
右...交通安全教室の様子

（体）心も体も健康に生活する子

自由記述から...

・日頃からの防災訓練や安全パトロールを通じて安全を身近に感じることは出来ていると思います。低学年はまだ自分で身の安全の確保は難しいかと思しますので、引き続き地域の方々に協力して頂きみんなで見守っていける地域作りが大切になってくるかと思えます。

・地域における安全はあいさつから始まることを学んでほしいです。

⇒今後も、児童が安全に、安心して生活できるよう、地域・保護者の皆様と協力していきます。ご家庭でも交通ルールや安全な歩行などについて自分自身でも意識していけるようにお子さんと話し合いを重ねてください。